

月の動きを観察してみよう！

この暑さに大慌てで、例年に無い速さで桜前線は北上を続けた。そんな季節の移ろいじやが、春の星空はみんなを待つておる！

はーい。ホントに変なお天気？！
暑かったり寒かったりで体調も
狂っちゃいそ。でも元気によ
春の星空に出かけようっと！

星空の道しるべ!!

「北斗七星」って言う名前、多分多くの人が知っている事じやろう。この時期、天頂辺りに目を向ければ、誰でも必ず見つけることができる。
まつぶの真中辺り、綫で結んだ7つの星並び、これが「北斗七星」。一度覚えた

もし知らなかつたり、忘れてしまつていたら、この春ぜひ覚え期北の空のどこかに見えておる。必ず、北の方向に見えることから自分の位置をほぼ知ることができ、「北極星」を探す目印でもあり、この表示を参照して見つけて見よ。ところで、日本ではひしゃく形と呼ぶことを北斗七星の星並びは、昔からで様々な形に見立てられておる。多いが、馬車とか荷車、農具のすなどと呼ばれて親しまれておるよ。

東日

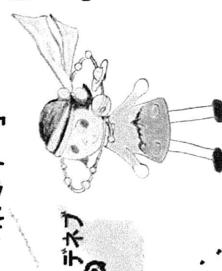
も必ず見つけることができる。
まつぶの真中辺り、線で結んだ7つの星並び、これが「北斗七星」。一度覚えたつきと忘れないはずじや。もし知らなかつたり、忘れてしまつていたら、この春ぜひ覚えおこう。この北斗七星、この時期北の空のどこかに見えておる。北の方向に見えることから、自分の位置をほぼ知ることができます。「北极星」を探す目印でもあり、まつこの表示を参照して見つけて見よう。

ところで、日本ではひしく形と呼ぶが、北斗七星の星並びは、昔から世界で様々な形に見立てられておる。アフロ多いが、馬車とか荷車、農具のすきなどと呼ばれて親しまれておるようじ

[5月中旬、午後8時頃に見える星空]

三

わたし、「ホミリ=」



そんな、月の動きを5月の空で観察してみよう。まず1日、南天に上弦後のチョット丸みを増した月が見える。その後、毎日同じ時間頃、更に丸みを増しながら東方に移動、6日には満月と

こんな風に、月は西から東へと
いくつもの星座の中を巡って
移動している。その通り道は、
まつぶに点線で示したほぼ
黄道上。「へー?」と思つた
ペテリギウス ながら、頭を巡らせてみよう。
ら、よく観察してみよう。
そして、満月後の月もどうな
るのか、頭を巡らせてみよう。
みずがめ座 エーダ

シリウス 川

流れ星の極大は、7日午前0時頃と予想。みずがめ座が昇つてくるのは、午前2時から3時頃の南東の空。満月直後の明るい月が西南の空にあり、観察条件はあまり良くないが、東の空を中心に観察してみよう。とは言え、未明はきついので、見みは5日～7日の宵から夜半にかけてじやな。

星雲の出現期間は、4月25日～5月20日。
【星空まつぶの見方】
南の星空を見上げる時は「南」を下に、「北」を見る時はまっぶをやかやまにして「北」を、同様に東の星空は「東」、西の星空は「西」を下にして見上げてください！

S
插

黄道 天空の星座のあいだを移動する太陽の見かけ上の通り道

黄道 天空の星 する太陽の

南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっすぐに「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね！

太白の歌
其の由來

南の星空を見上げる時に